

# 令和元年度指定野菜価格安定対策事業における 価格差補給交付金等の交付状況について

野菜業務部 交付業務課

## 【ポイント】

- 1 令和元年度指定野菜価格安定対策事業の価格差補給交付金等の交付額は、193億191万円（前年比122.8%、10年平均比169.0%）で、平成18年度（206億円）以来の高い水準となった。
- 2 品目別には、①レタス38億3320万円（前年比89.1%）、②たまねぎ35億3148万円（同19410.1%）、③トマト31億5312万円（同140.8%）、④キャベツ25億427万円（同108.9%）、⑤にんじん22億5638万円（同190.2%）の順で、上位5品目で全体の約8割を占める。
- 3 道府県別には、①北海道35億3330万円（前年比1137.7%）、②熊本県20億5472万円（同105.4%）、③長野県17億988万円（同155.8%）、④愛知県12億2213万円（同120.4%）、⑤徳島県11億8639万円（同145.1%）の順で、上位5道県で全体の約半分を占める。

## 1 はじめに

野菜は国民の食生活に欠くことのできない食料品ですが、天候により豊作、不作の差が大きい上に日持ちしないものが多いため、価格が短期間に大きく変動するという特性を有しています。このため、当機構では、キャベツ、トマトなど消費量が多く重要な野菜14品目を対象として指定野菜価格安定対策事業を実施しています。この事業は、あらかじめ国、都道府県の区域を単位として設立された野菜価格安定法人、生産者が資金を積み立てておき、これら野菜の市場価格が低落した場合に生産者が次年度以降も安定した生産を継続できるよう、低落の幅に応じた価格差補給金交付金等を生産者に交付するものです。

この度、令和元年度事業の対象野菜の出荷期間が終了しましたので、当該年度における価格差補給交付金等の交付状況について報告します。

## 2 気象概況と東京都中央卸売市場における価格の状況

令和元年度の野菜の価格を概観すると、4月から6月までは適度な降雨と天候に恵まれ、生育が順調だったことから、ほぼ平年を下回って推移しました。その後、夏秋野菜は、生育期の低温や日照不足などの影響が多少あったものの、おおむね順調な生育で、10月の台風の浸水などの影響も少なく、暖冬で適度な降雨もあったことから、秋から冬の入荷量は潤沢で、価格は平

年を下回って推移しました。3月下旬から4月にかけては新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大防止の外出自粛の影響により、業務用需要が落ち込み、価格が平年を下回った品目がある一方で、逆に家庭消費の需要増から、価格が平年を上回った品目があるなど、品目によって異なる状況となりました。

具体的には、春野菜は、暖冬と好天の影響により順調な生育で安定した入荷量となり、多くの品目で平年を下回って推移しました。

夏秋野菜は、生育期に低温や日照不足の影響を受けた果菜類が7月は、入荷量が少なめとなり、平年を上回ったものの、葉茎菜類、根菜類などは順調な入荷量で価格は平年を下回って推移しました。

秋冬野菜は、9月から10月にかけて発生した台風の影響により浸水などの被害が発生しましたが、蒔き直しなどの対策などを講じたこと、適度な降雨と暖冬により、秋冬野菜は、潤沢な入荷量で、価格は平年

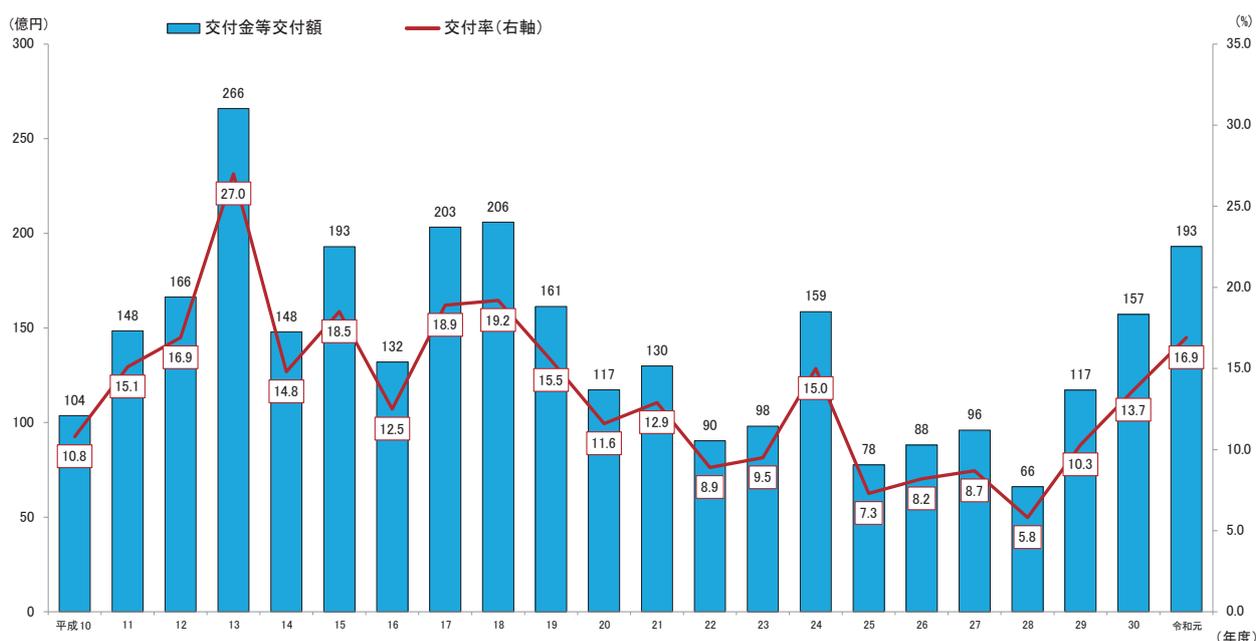
を下回って推移しました。

3月下旬から4月にかけては、COVID-19の感染拡大防止の外出自粛の影響に伴う業務用需要の落ち込みにより、たまねぎなどの価格が、平年を大きく下回りました。一方で、それまでの暖冬により出荷が前進化して入荷量が平年を下回ったキャベツやだいこんのほか、COVID-19の感染拡大防止の外出自粛の影響により、家庭消費をはじめとした需要増がみられたはくさいなどの価格は、平年を上回って推移しました。

### 3 価格差補給交付金等の交付状況

このように、令和元年度の野菜の価格は、3月下旬から4月にかけての一部品目を除き、ほぼ年間を通して平年を下回ったため、令和元年度事業の価格差補給交付金等の交付額は前年度を大きく上回る193億191万円（対前年比122.8%）、交付率（資金造成額に占める交付額の割合）は、16.9%と見込まれています（図1）。

図1 指定野菜価格差補給交付金等交付額および交付率の推移



品目別の交付状況は、レタスが38億3320万円（交付割合19.9%）で最も多く、次いでたまねぎが35億3148万円（同18.3%）、トマトが31億5312万円（同16.3%）、キャベツが25億427万円（同13.0%）、にんじんが22億5638万円（同11.7%）の順になっています。これら上位5品目で交付額の約8割を占めています（図2）。

レタスの交付額が多かった要因としては、5月以降は入荷量が安定し野菜全体が安値傾向となる中、夏秋レタスの主産地では、日照時間に恵まれ生育が良好だったことから潤沢な入荷量となり、価格を押し下げたこと、また、冬レタスの主産地では、温暖な気候が続き、生育状況に恵まれて品質がよく潤沢な出荷となったことから年明

けから価格が低水準で推移し、レタス全体の交付率は、27.1%となりました。

レタスに次いで交付額が多かったたまねぎをみると、年間を通して順調な生育となり特に主産地である北海道産が潤沢な入荷量だったことに加え、COVID-19の感染拡大防止の外出自粛の影響により、業務用需要が落ち込み価格が低水準で推移したことから、たまねぎ全体の交付率は31.0%となりました。

また、品目別・出荷時期別（種別別）の交付状況をみると、たまねぎの35億3148万円（交付率31.0%）を筆頭に、次いで冬春トマトの23億7328万円（同18.5%）、冬レタスの21億8225万円（同29.4%）、冬キャベツの19億9705万円（同35.4%）の順となっています（表1）。

図2 品目別価格差補給交付金等交付額および交付割合

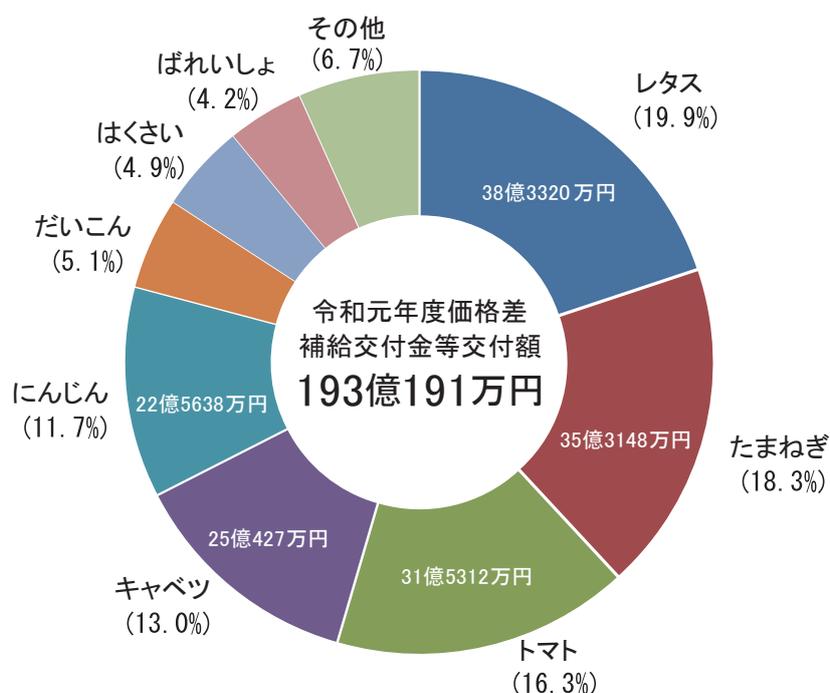


表1 種別別価格差補給交付金等交付額および交付率

区分 対象野菜		令和元年度			平成30年度		
		資金造成額 (A)	交付金等交付額 (B)	交付率 (B)/(A)	資金造成額 (C)	交付金等交付額 (D)	交付率 (D)/(C)
キャベツ	春	千円 2,786,299	千円 159,251	% 5.7	千円 2,852,011	千円 664,937	% 23.3
	夏秋	5,572,109	347,967	6.2	5,360,820	55,718	1.0
	冬	5,634,801	1,997,053	35.4	5,736,798	1,578,368	27.5
	計	13,993,209	2,504,271	17.9	13,949,629	2,299,023	16.5
きゅうり	夏秋	4,439,273	159,094	3.6	4,497,488	25,316	0.6
	冬春	8,472,304	329,647	3.9	8,540,063	1,047,547	12.3
	計	12,911,577	488,741	3.8	13,037,551	1,072,863	8.2
さといも	秋冬	264,453	3,072	1.2	280,940	558	0.2
だいこん	春	1,039,549	172,002	16.5	1,139,848	261,702	23.0
	夏	1,217,634	187,780	15.4	1,268,217	7,926	0.6
	秋冬	3,983,949	619,669	15.6	3,967,314	1,022,634	25.8
	計	6,241,132	979,451	15.7	6,375,379	1,292,262	20.3
たまねぎ		11,384,692	3,531,478	31.0	11,419,422	18,194	0.2
トマト	夏秋	7,483,901	779,844	10.4	7,712,386	42,750	0.6
	冬春	12,850,790	2,373,280	18.5	12,634,714	2,197,264	17.4
	計	20,334,691	3,153,124	15.5	20,347,100	2,240,014	11.0
なす	夏秋	1,929,469	41,224	2.1	1,912,660	10,034	0.5
	冬春	4,313,368	15,956	0.4	4,258,005	69,293	1.6
	計	6,242,837	57,180	0.9	6,170,665	79,327	1.3
にんじん	春夏	3,332,595	1,492,120	44.8	3,321,605	927,614	27.9
	秋	1,865,027	531,730	28.5	1,812,207	0	0.0
	冬	2,706,428	232,528	8.6	2,696,629	258,747	9.6
	計	7,904,050	2,256,378	28.5	7,830,441	1,186,361	15.2
ねぎ	春	842,702	40,020	4.7	828,614	24,837	3.0
	夏	1,239,521	131,431	10.6	1,204,327	19,746	1.6
	秋冬	3,043,487	296,939	9.8	3,220,844	236,007	7.3
	計	5,125,710	468,390	9.1	5,253,785	280,590	5.3
はくさい	春	438,059	98,203	22.4	451,350	130,349	28.9
	夏	1,597,828	446,019	27.9	1,555,052	370	0.0
	秋冬	1,754,682	396,368	22.6	1,863,769	860,061	46.1
	計	3,790,569	940,590	24.8	3,870,171	990,780	25.6
ばれいしょ		4,101,436	815,208	19.9	4,171,289	1,539,455	36.9
ピーマン	夏秋	1,422,085	3,875	0.3	1,379,578	0	0.0
	冬春	4,170,259	241,031	5.8	4,148,382	291,301	7.0
	計	5,592,344	244,906	4.4	5,527,960	291,301	5.3
ほうれんそう		2,309,139	25,920	1.1	2,593,173	121,248	4.7
レタス	春	1,930,675	127,216	6.6	1,889,714	482,152	25.5
	夏秋	4,782,880	1,523,733	31.9	4,733,348	1,151,420	24.3
	冬	7,411,098	2,182,251	29.4	7,493,585	2,667,544	35.6
	計	14,124,653	3,833,200	27.1	14,116,647	4,301,116	30.5
合計		114,320,492	19,301,909	16.9	114,944,152	15,713,092	13.7

次に、道府県別の交付状況は、北海道が35億3330万円（たまねぎなど）、熊本県が20億5472万円（冬春トマトなど）、長野県が17億988万円（夏秋レタスなど）、愛知県が12億2213万円（冬キャベツなど）、徳島県が11億8639万円（春夏にんじんなど）の順となっています。これら上位5道県で交付額の約半分を占めています（図3、表2）。

以上、令和元年度指定野菜価格安定事業における価格差補給交付金等の交付状況について紹介しましたが、この生産者への価格差補給交付金等の交付により野菜の安定的な生産が確保され、ひいては、消費者に対して国産野菜の安定的な供給が確保されています。当機構では、今後とも、速やかな価格差補給交付金等の交付など本事業の的確な実施を図ってまいります。

図3 道府県別価格差補給交付金等交付額および交付割合

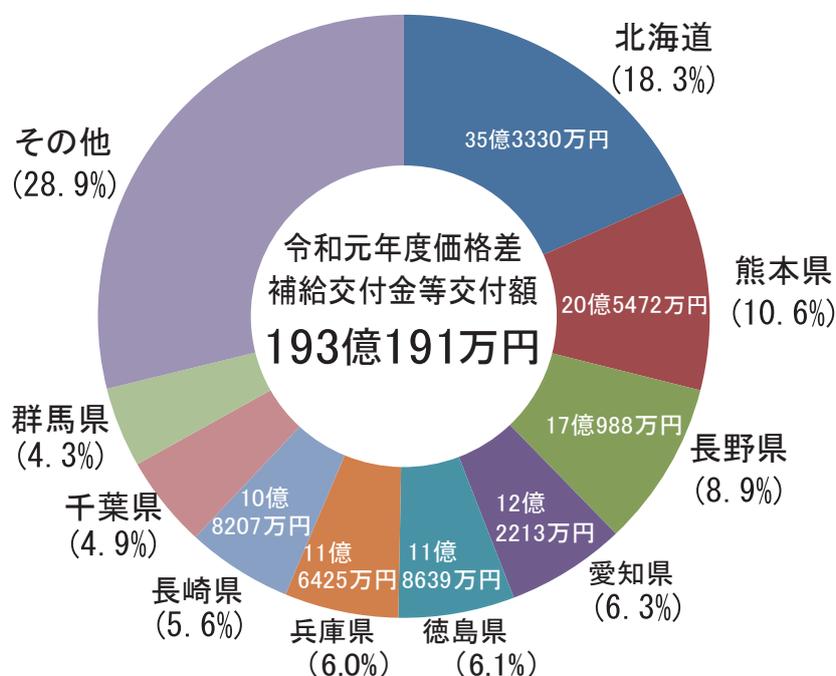


表2 道府県別価格差補給交付金等交付額および交付率

区分 道府県	令和元年度			平成30年度		
	資金造成額 (A)	交付金等交付額 (B)	交付率 (B)/(A)	資金造成額 (C)	交付金等交付額 (D)	交付率 (D)/(C)
	千円	千円	%	千円	千円	%
北海道	11,843,625	3,533,295	29.8	11,883,967	310,560	2.6
青森県	2,074,465	214,885	10.4	2,072,415	26,650	1.3
岩手県	2,202,478	97,347	4.4	2,283,638	18,522	0.8
宮城県	270,947	2,025	0.7	297,391	727	0.2
秋田県	446,610	26,910	6.0	475,800	0	0.0
山形県	491,390	25,732	5.2	549,434	1,977	0.4
福島県	2,449,168	126,633	5.2	2,589,054	9,849	0.4
茨城県	4,511,697	648,288	14.4	4,512,690	1,021,833	22.6
栃木県	1,517,053	155,661	10.3	1,695,767	129,581	7.6
群馬県	9,059,799	829,208	9.2	8,477,132	541,087	6.4
埼玉県	792,067	29,971	3.8	833,174	46,826	5.6
千葉県	8,522,859	947,889	11.1	8,681,477	1,394,437	16.1
神奈川県	2,916,539	431,424	14.8	2,922,323	676,738	23.2
新潟県	391,217	12,311	3.1	429,940	3,106	0.7
富山県	298,891	26,603	8.9	298,420	695	0.2
石川県	190,257	4,045	2.1	201,677	9,646	4.8
福井県	98,360	238	0.2	106,965	710	0.7
山梨県	335,115	15,072	4.5	363,452	7,273	2.0
長野県	7,015,530	1,709,880	24.4	6,914,344	1,097,771	15.9
岐阜県	1,805,504	252,254	14.0	2,055,780	71,547	3.5
静岡県	1,788,165	524,261	29.3	1,829,390	634,674	34.7
愛知県	4,847,933	1,222,132	25.2	4,812,798	1,014,831	21.1
三重県	281,507	58,226	20.7	255,757	64,304	25.1
滋賀県	31,814	3,323	10.4	41,387	4,682	11.3
京都府	43,602	2,143	4.9	47,976	0	0.0
大阪府	572,789	60,582	10.6	568,592	35,942	6.3
兵庫県	5,101,780	1,164,247	22.8	4,974,893	908,381	18.3
奈良県	223,456	16,422	7.3	229,985	13,380	5.8
和歌山県	668,898	148,501	22.2	674,721	200,066	29.7
鳥取県	890,108	66,134	7.4	934,342	35,406	3.8
島根県	35,922	11,636	32.4	39,700	5,424	13.7
岡山県	678,868	54,677	8.1	722,937	45,566	6.3
広島県	431,384	47,500	11.0	474,797	42,226	8.9
山口県	239,065	31,377	13.1	263,339	25,444	9.7
徳島県	3,712,134	1,186,393	32.0	3,723,543	817,853	22.0
香川県	2,891,576	548,548	19.0	2,876,766	589,083	20.5
愛媛県	793,156	69,264	8.7	881,829	52,888	6.0
高知県	4,248,229	163,597	3.9	4,412,738	371,188	8.4
福岡県	2,239,262	413,357	18.5	2,379,534	599,071	25.2
佐賀県	2,384,469	522,440	21.9	2,539,213	118,527	4.7
長崎県	4,054,552	1,082,070	26.7	3,980,262	1,743,661	43.8
熊本県	12,405,099	2,054,717	16.6	12,025,297	1,949,541	16.2
大分県	592,555	48,381	8.2	594,149	14,212	2.4
宮崎県	5,851,862	439,973	7.5	5,965,835	661,357	11.1
鹿児島県	1,927,254	238,490	12.4	1,916,260	371,685	19.4
沖縄県	151,482	33,847	22.3	133,272	24,165	18.1
総計	114,320,492	19,301,909	16.9	114,944,152	15,713,092	13.7